



あけましておめでとうございます

～今年も山東小をよろしくお願いいたします～

冬休み中の大きな事故や病気の報告もなく、子どもたちが元気に登校し、3学期がスタートしました。ご家庭での様々なご指導のおかげです。ありがとうございました。いよいよ始まった3学期には「2つの意味がある」といわれています。

1つは、「1年間の3番目の学期」いわゆる1年間のまとめの学期

1・2学期に経験してきた生活習慣や団体行動、礼儀・態度などが身についているかどうかを確認し、不十分なところはもう一度挑戦する学期です。学習面でも、これまでの学習内容を確認し、苦手なところなどを学習しなおして1年間の学習内容を確実に身につける学期です。

1つは、「次の学年の0学期」いわゆる次の学年（6年は中学1年）の準備の学期

学年が上がると立場が変わります。例えば、1年生はお世話をされていた立場から、新1年生をお世話する立場になります。3年生は委員会活動が始まり、学年だけでなく学校のために活動する立場になります。5年生は自ら考え行動し、学校を引っ張っていく最上級生になります。そこで、次の学年の立場にあった考え方や行動を試し、心構えをつくる学期です。

この2つは、簡単ではないし、3か月かけても難しいでしょう。しかし、やろうとする気持ちが「ある」か「ない」かでは、大きく変わります。「できる、できない」ではなく、「やろうとする、やろうとしない」なのです。まずは、今の自分ができているところ、できていないところを確認して、できていないところができるように1つでもやってみる。そうすれば必ず前に進みます。今の学年をより充実した学年にして、次の学年が良いスタートがきれるように、この2つを頑張って3学期を過ごしてくれることを期待しています。応援とご指導をお願いします。

子どもたちが笑顔で元気に3学期を送れますよう、保護者・地域の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

楽しい『どんどや』大盛況！

8日、PTAと親児の会（おやじの会）の合同企画で、山東小の子どもたちの1年間の健康を願った「どんどや」が、山東小校区消防団の見守りの中ありました。マシュマロやウインナーを焼いて食べ、焼き芋や石窯で作ったピザも登場する楽しい会になりました。

自治会や地域の方々やPTA役員・おやじの会の皆様には、前日の竹の切り出しや運搬、組み上げなどの準備から、当日の火の管理や片付けまで大変ご協力いただきました。ありがとうございました。来年もよろしく申し上げます！



始業式の話 ～「命を守る」と「目標達成のために」～

始業式の前に能登半島地震で亡くなられた方へ黙とうをし、始業式で次のことを話しました。

- ・今回の地震では津波・火災も発生、多くの尊い命が失われ、道路や建物は壊れ焼失したこと。
- ・熊本地震は1年生が生まれた年で、災害や事故はいつどこで起きるかわからないこと。
- ・「自分の命は自分で守る」ことができるように、日ごろから考えて、準備しておくこと。
- ・命は一つしかないからしっかり守ること。

1月1日に令和6年能登半島地震が起こり、津波・火災も発生し多くの尊い命が失われました。お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。また、1日も早い復旧復興がなされ、日常が戻りますことを祈っております。

また、新年・新学期を迎えて目標を立てている子どもたちに向けて、目標をかなえるために大切なことを話しました。3学期やこれからを有意義に過ごすことを願っています。

第3学期 始業式 校長講話の内容 (要約)

～「3学期の目標」「1年間の目標」「何年後かの目標」をかなえるための2つのこと～

去年の3学期始業式の「目標をかなえるための話」

植木町保存樹第1号、熊本市保存樹木312号である裏門近くの楠と、東日本大震災の津波で流されなかった「奇跡の一本松」の話から、この高く大きい立派な二つの木は、深く大きく広がっている根っこを持っている。大きく成長して、目標をかなえるためには、深く大きく根っこを育て、自分を信じて頑張ることが大切です。「何も咲かない寒い日は 下へ下へと根を伸ばせ やがて大きな花が咲く」という言葉を思い出そう。

今年の3学期始業式の「目標をかなえるための話」

「ウサギとカメ」では、なぜ、ウサギはカメに負けたのか？

「ウサギが、気を抜いて昼寝をしたから」

つまり、「気を抜くな。油断したらダメ。最後まで頑張れ！」

ということを教えてくれる話です。

別の見方・考え方をしてみる！

ウサギとカメが、こんなことを考えていたからかな・・・

ウサギ：「カメは遅いから負けない。昼寝しても勝てるぜ！」

つまり、ウサギは「カメのこと」を考えていた。

カメ：「僕は遅いけど、ゴールまでがんばろう！」

つまり、カメは「ゴールすること」を考えていた。

ウサギは、相手のことばかり考えて、ゴールするという本当の目標が後回しになっていたの
で、自分の力をださきれずに負けた。つまり、「相手ばかり見ていると、本当の目標を見失って、
自分の力をださきれないぞ！注意しろ！」という話だと考えました。

友達と競い合うことで力がつくこともあります。しかし、人と比べて、勝ち負けや、できた・
できないばかりを気にしていると、自分の力をださきれないかもしれない。人のことより本当
の目標を忘れずに自分の力をださきること目標はかなう。

「他人と比べるな、過去の自分と比べよ」(人とくらべるな、これまでの自分より、今の自分
が頑張っているかを比べろ)という言葉もあります。

次の2つのことを忘れずに、頑張って目標をかなえよう。

- ・深く大きく根っこを育て、自分を信じて頑張ることが大切。
- ・人ばかり気にしない。目標にむけて、自分の力をださきることが大切。

